

November 13, 2020

研究大学コンソーシアム (RUC)

シンポジウム セッション1

「Withコロナ時代の国際人材交流について」

時空間を超えた連携と
研究者と家族の安心が醸成する
「HFSP深化型イノベーション・
エコシステム」

足立剛也

Visiting Scientist, HFSP

President Elect, 海外日本人
研究者ネットワーク (UJA)

Founder/Vice President,
ケイロン・イニシアチブ

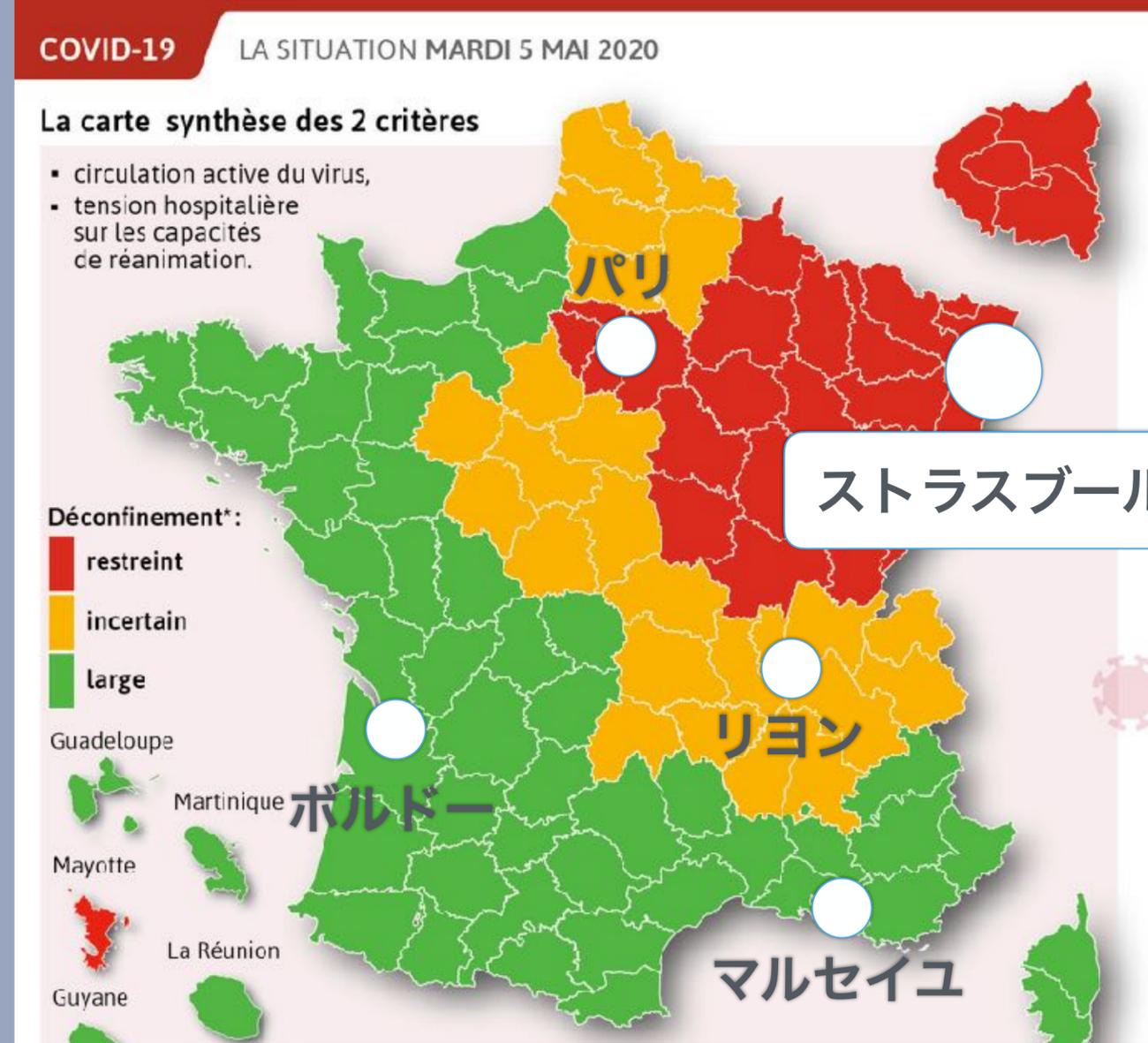


フランス1日の感染者3万人超え 最多更新

10/16(金) 10:51 配信 4



0テレNEWS24





Human Frontier Science Program

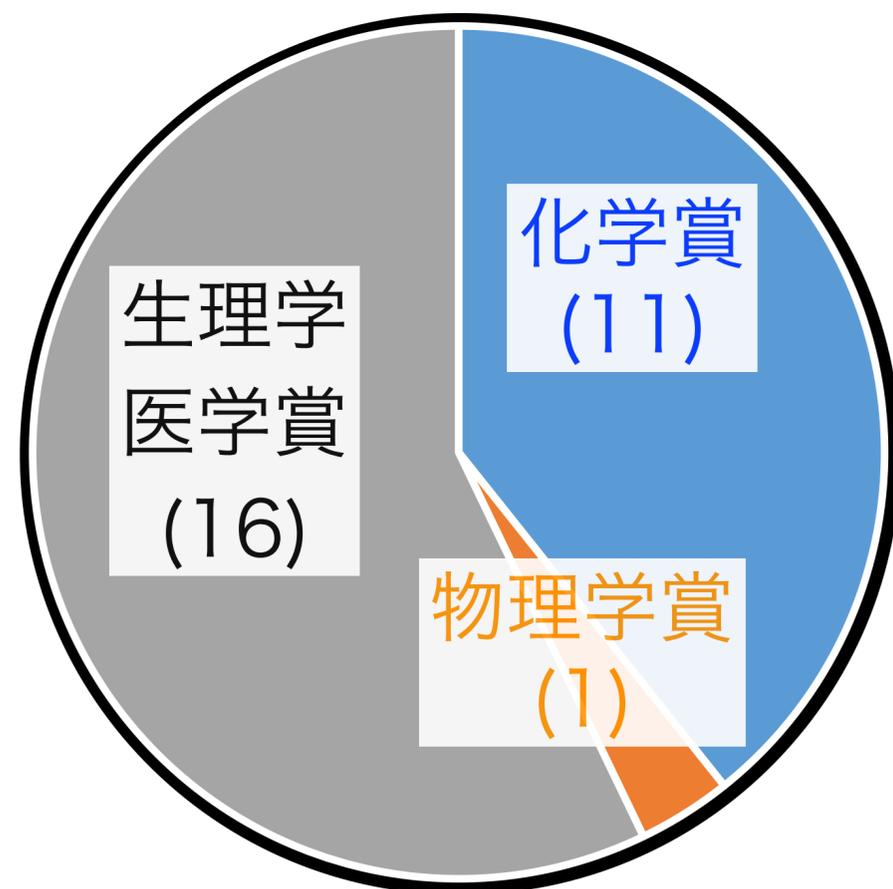




28 Nobel Prize Laureates in 30 years of HFSP



Tasuku Honjo
2018年 生理学医学賞



Steven Chu
1997年 物理学賞

Roger Kornberg
2006年 化学賞

Jack Szostak
2009年 生理学医学賞

Martin Karplus
Michael Levitt
2013年 化学賞
(ダブル受賞)



セレンディピティ (イノベーション) を生み出す環境づくり



①コンセプトの明確化



②混ぜ合わせの推進



③安心の提供



セレンディピティ (イノベーション) を生み出す環境づくり



An article on the 2019 HFSP Awardees Meeting in Tsukuba available in 4 languages:

Pure Diversity on Display

生命科学领域的多学科盛会

완벽한다양성을가진컨퍼런스

本物の多様性がここに

Produced by **nature**research
CUSTOM MEDIA 

「学術会議がますます専門化していく時代にあって、植物遺伝学者が腸内細菌の研究者と同席したり、動物行動学者ががんの研究者とコーヒーを片手に語り合ったりする場は珍しい。それでも研究者たちは、そうした多様な交流を心から楽しんでいる。」

2019年10月
受賞者会合@つくば

HFSPの成功を日本のセレンディピティへつなげる



HFSPの成功の土壌

① コンセプト
の明確化

② 混ぜ合わせ
の推進

③ 安心の提供



セレンディピティ
(イノベーション)

With-COVID-19時代の
日本の研究土壌に還元するにはどうしたら良いか？



HFSP深化型イノベーション・エコシステムの構築は可能か？



①コンセプトの明確化

テーマにとらわれず、
国と分野の
垣根を越える



②混ぜ合わせの推進



③安心の提供



Japan XR Science Forum 2020 in US Midwest



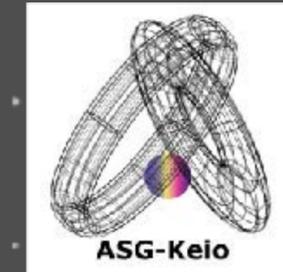
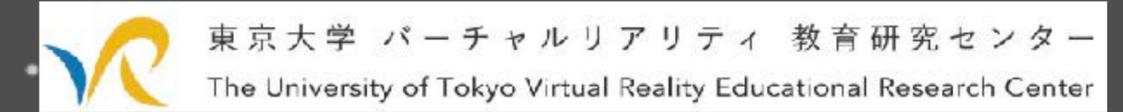
2020年7月12日 (日) 日本時間7:00-12:00 バーチャルリアリティ空間で開催



世界で初めて研究者と家族が参加する超仮想現実学会



アメリカ大使館





HFSP深化型イノベーション・エコシステムの構築は可能か？



①コンセプトの明確化

テーマにとらわれず、
国と分野の
垣根を越える



②混ぜ合わせの推進

海外で最先端研究を
主導する日本人研究者
6000人のネットワーク



③安心の提供



②混ぜ合わせの推進： 海外日本人研究者ネットワーク UJA*

[https://
www.uja-
info.org](https://www.uja-info.org)



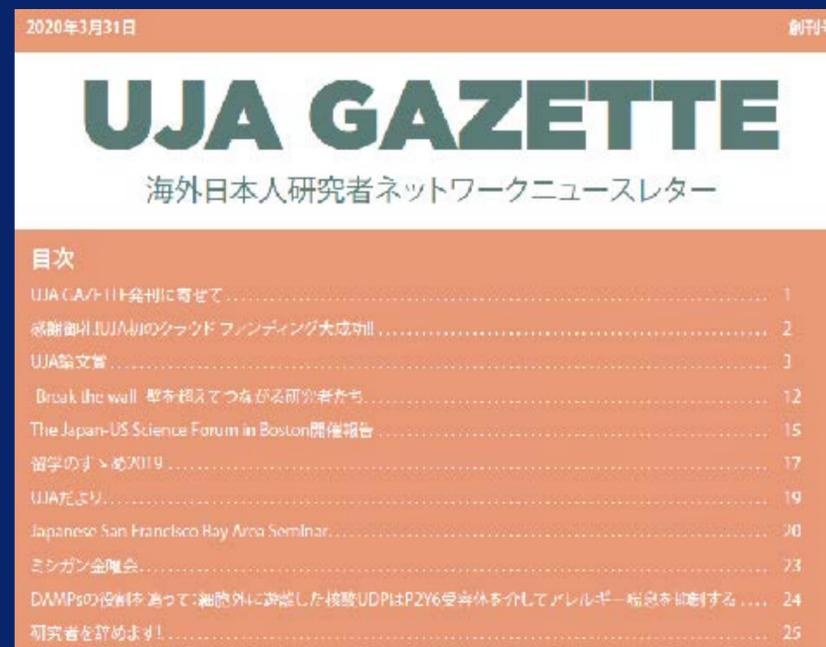
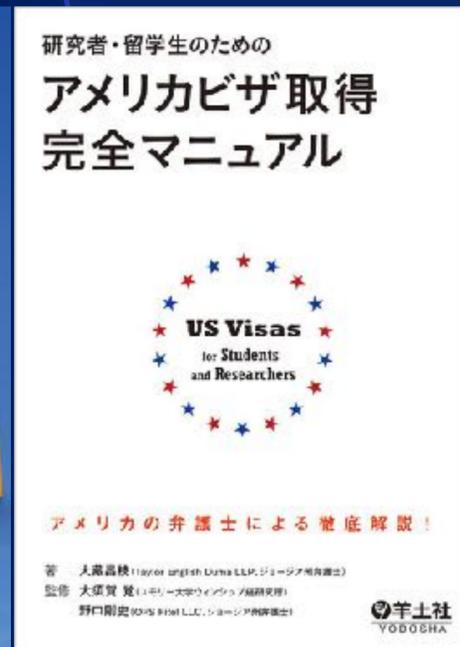
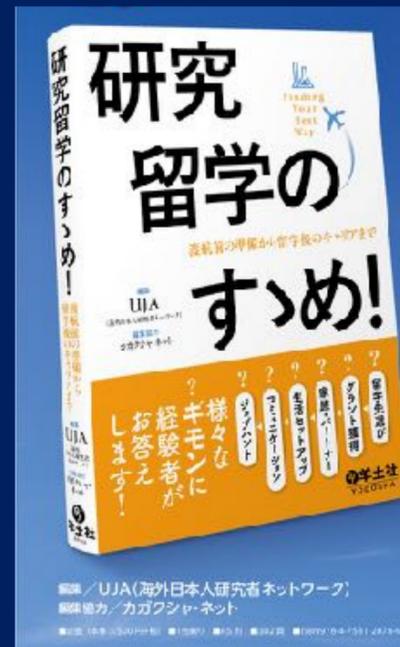
海外の日本人研究者のキャリアにおける相互支援の場として、
留学を検討する方への情報提供や支援の場として、
そして、教育・科学技術行政機関との情報交換および連携の場として、
海外日本人研究者ネットワークUJAは、2012年より活動しています。

*United Japanese researchers Around the world



幅広い情報発信： 世界の最先端研究と現場の生の声を届ける

[https://
www.uja-
info.org](https://www.uja-info.org)



・ UJAだよりを
隔月定期連載

・ 研究留学のすゝめなど
留学推進書籍を発刊

・ ニュースレター
UJA GAZETTE発刊

・ 朝日新聞DIGITALなど
オンライン発信を展開



多様な研究・教育推進プラットフォーム： 日本の科学技術のプレゼンス向上と次世代人材育成

[https://
www.uja-
info.org](https://www.uja-info.org)



- ・ 在外公館や助成機関と連携し、世界各国で科学フォーラムを開催



- ・ 国内学会と連携し、研究留学経験者の生の声を届けるイベントを開催



- ・ 海外で活躍する若手研究者の優れた成果を表彰するUJA論文賞



- ・ 海外日本人研究者による中高生向けオンラインワークショップ



HFSP深化型イノベーション・エコシステムの構築は可能か？



①コンセプトの明確化

テーマにとらわれず、
国と分野の
垣根を越える



②混ぜ合わせの推進

海外で最先端研究を
主導する日本人研究者
6000人のネットワーク



③安心の提供

研究者の家族支援や科学教育を
含めた多様なキャリアに
対応する次世代人材育成戦略



③安心の提供：家族を含めた研究者の支援 NPO法人ケイロン・イニシアチブ

www.cheiron.jp



研究者の家族に向けた 情報プラットフォーム

- 健康・医療・保険
- 育児・出産 等
- 実体験に基づく解決策！



研究者の家族に向けた 助成金制度

- 課題解決に資する助成金
- 家族が応募し、家族が受給
- 重複受給の問題もクリア！



研究者の家族に向けた 連携推進

- 既存の家族支援の取り組みと連携
- 配偶者のキャリアから
子どもの教育まで！



Cheiron-GIFTS

Cheiron Grant Initiative for Families
enabling Tomorrow's Science



応募期間

2020年

4月1日~30日



金額

2~4家族に対して

10万円~最大40万円



応募方法

当法人ウェブサイトへ

[https://
www.cheiron.jp/grant](https://www.cheiron.jp/grant)

2020年のテーマは「研究者の家族の海外でのキャリアパス」支援

ケース 1



夫：がん研究者
妻：看護師、休職中

留学先での出産を控える

ケース 2



免疫学研究者 (女性)
母、息子 (2歳) と3人暮らし

シングルマザーで海外に挑戦

ケース 3



夫：化学研究者
妻：教員
子ども：娘 (10歳)、息子 (6歳)

留学先で子どもの受験に挑む



Cheiron-GIFTS 2020 1位



代表者氏名：高田 千明

研究者氏名：高田 望

海外での居住地：アメリカ・シカゴ

研究分野：総合生物, 生物学, 医歯薬学

研究テーマ：器官発生と再生の原理解明

研究者として取得している助成金：上原記念生命科学財団

Cheiron-GIFTSの活用方法 (要約)：

看護師である研究者の配偶者の、CNA試験資格取得に係る費用に活用し、留学先 (アメリカ・シカゴ) で看護助手 (CNA) として働くことを目指す



Cheiron-GIFTS 2020 特別賞



代表者氏名：川村 俊輔

研究者氏名：川村 俊輔

海外での居住地：スイス・バーゼル

研究分野：生物学, 医歯薬学, 複合領域

研究テーマ：免疫細胞分化におけるシグナルダイナミクスの関連

研究者として取得している助成金：日本学術振興会海外特別研究員

Cheiron-GIFTSの活用方法 (要約)：

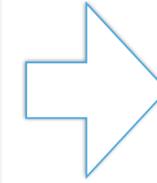
留学先 (スイス) における法改正に伴うEU圏外からの就労者同伴家族の公用語学習レベルの更新審査通過による留学の継続を目指す

採択にあたってのメッセージ：私は日本学術振興会海外特別研究員として採択されておりますが、**Cheiron-GIFTS**は研究者家族全体への支援であるため、学術振興会からも助成をいただく許可をいただきました。本助成への応募が、今後も、海外特別研究員を含む多くの研究者にとって「現在抱えている海外での家族キャリアパスに関する問題」を再考するよい機会となることを切に望みます。

在外公館・研究助成機関
と連携した海外・国内の
科学技術フォーラムにお
けるXRハッカソンの開催

長期的投資を測る
「**厚み指標**」を
含めた強み・弱み
可能性の可視化

セキュリティの
担保されたXR
技術・ORCID API
等を活用



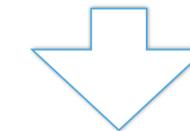
インパクト解析をもと
にグループ構成・提案
内容を取りまとめ

URAによる機関の枠組みを
越えたバーチャル研究支援

挑戦する研究者の家族支援等にも
活用し得るESG投資

**未来社会の
科学・技術革新の
先導的モデル**

	デザイン	環境	経済	生命科学	物理	化学	医療	...
...								



テーマにとらわれない若手研究者の
野心的研究から非トップダウン式に
研究戦略を策定することは可能か？

RUCで計画が検討される研究支援の
DXプラットフォームとの連携

まとめ

- 我が国が提唱し始まったHFSPは①コンセプトの明確化、②混ぜ合わせの推進、③安心の提供により30年で28人のノーベル賞受賞者を輩出してきた
- 海外で活躍する日本人研究者のUJAネットワークを、XR技術を用いて連携し、ケイロン・イニシアチブの家族を含めた研究支援を組み合わせ、HFSPの成功をWith-COVID-19時代の日本の研究土壌に還元する試みが始まっている
- 時空を超えた連携と研究者と家族の安心によって醸成される若手研究者の挑戦がwith-COVID-19時代の科学技術革新を先導することが期待される